

研修 評価

研修名	医療現場で実践できるコミュニケーション（中堅編）				
領 域	協働する力を高める 研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅲ、Ⅳ） 募集数(80人)応募数(39人)参加数(39人)会員数(39人)非会員数(0人)				
日 時	令和6年11月6日（水曜日）10：00～16：00				
ねらい（目標）	1. 相手も自分も大切にするコミュニケーションについて理解する。 2. チーム医療を円滑に行うためのコミュニケーションスキルを身につけることができる。				
講 師	池田 優子 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 非常勤講師				
内容・方法	○講義内容 ・自己コミュニケーションの傾向を知る ・コミュニケーションスキルについて理解する ・医療現場のコミュニケーションとその持ち方 ・他職種とのコミュニケーションの実際 ・アサーションの必要性 ○研修方法：講義と演習（アサーショントレーニング）				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 39名 49% 【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率77%） ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 96.7% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・後輩指導やチームリーダーとして活動することも多くあるのですが得た知識をもとに実践していきたいと思いました。 ・コミュニケーションでの自分の苦手な部分を改善しコミュニケーションスキルを向上させていくための行動実践も明確になった ・コミュニケーションスキルを身につけることによって業務がストレスなくスムーズに前向きに行えるだけでなく患者サービスにもつながると思う ・自分の考えや意見を述べる I メッセージがなかなかできていないと思いました。2種類の質問を使い分けるなど日々の中で活かせることが多くありました				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【目標は達成した】・達成しなかった】 テーマ・目標・企画内容・時間配分など：妥当であった。 アンケート結果：研修の満足度は、「満足できた」「ほぼ満足できた」が100%であった。また「研修内容の整合性」も80%が「整合性があった」と回答した。 ○総括：参加人数は少なかったが、参加者から学びは多く実践に活かせる内容であったとの評価であった。				
課 題	・特になし。				
担当者	教育委員				